1部復帰に向け

身振りを交え熱心に指導するホッダー氏

本場ニュージーランドの教え

チームのためにどれだけ責任果たせるか

ニュージーランド・ワイカト州協会のハイパフォーマンス・ラグビーマネージャーであるポール・ホッダー氏の特別指導の様子を専大スポーツ編集部の山中克浩さん（経済3）がレポート。

（16面に関連記事）

国際交流協定を結んでいるワイカト大学と本学は、教育・研究面でさまざまな交流を行っている。ホッダー氏は、日本ラグビー協会の招聘で来日。今回、ワイカト大学日本事務所の尽力で国際交流の一環として「夢の特別指導」が実現した。

練習は午前中にディフェンス、午後からはオフェンスと二部に分かれ、タックルやパスなど、プレーの基礎となる部分に焦点を当てて行われた。基本動作の中にも複雑な動きを織り交ぜ、趣向を凝らした練習方法に頭を悩ませる選手も。「一つのプレーにもいろんな練習が考えられる。今日の練習でみんなの引き出しを増やすことができれば」と語るホッダー氏。

気づいたことがあれば真剣味が増していき、最後の実戦練習では、選手同士が活発にコミュニケーションをとるようになっていた。

武田達也主将（経済4・啓光学園高）は「（教わった）パスの投げ方が今までと違って、違和感があった」と新しい感覚があった」と新しい感覚に戸惑いながらも、「今日やったことをマスターすれば、もう一、二段レベルが上がると思う。これで終わらせることなく、一人ひとりが高い意識を持って、継続していくことが必要」と手応えを感じた様子。榎本邦夫監督も「攻守の基本をやってもらって、応用もできた。全体練習が始まる時期に、基礎の見直しができてよかった。ワイカト大学日本事務所に感謝している」と話した。

指導を終えたホッダー氏は「部員たちは、少しおとなしいけど、やる気に満ちているね」と満足気な表情。「ゲームでの自分の責任をきちんと理解することが重要だ。一人ひとりがチームのために責任をどれだけ果たすか。そのためには普段の練習を書き留めて、反復することが大切。今日の練習でそれをわかってもらいたいね」

日本のラグビー普及に関する話に及ぶと「プレーするにしても、観戦するにしても、ラグビーに携わるみんながファミリーだ。体が小さい人も大きい人もみんなが楽しめる。ラグビーはそういうスポーツだと思うね。もっとラグビーをエンジョイしてもらうための環境を用意することが、私の役割だと思うよ」と意気込む。

ラグビー部は、いよいよ5月から始まるオープン戦に向けたトレーニングを開始する。ホッダー氏が植えつけた意識は、1部復帰への処方箋となったはず。秋には最高の恩返しといきたいところだ。

キャリアデザインセンター情報

―さまざまな講座を活用して「社会人基礎力」を高めよう―

ワークショップ in Senshu

～日本一おもしろいキャリアデザイン講座～

ゼミでもサークルでもない専大生同士のネットワークをつくりたい人、社会に出ることに不安がある人、自信をもって「自分」について話せるようになりたい人にお勧めの講座。講師は「自分らしく、生き生きと働く」をテーマに研修やセミナーを行っている㈱ソラーレ代表の東浩司氏。グループワークや対話を中心とした進行で、毎回社会人ゲストが参加し、生きた体験談を伝えてくれる。6月22日まで（除く5月4日）毎週火曜4時限目、生田10309号教室で開講中。

▲　4月13日の第1回は約80人が参加し、熱く語り合った

4月20日のテーマは「旅するようにキャリアする～あなたはどんな旅がしたいですか?」。興味があるテーマのみの受講も可。希望者は直接教室へ。

課題解決（地域密着）型インターンシップ募集説明会

川崎市内の中小企業、NPO法人、商店街などが抱えている課題について、学生が日ごろ学んでいる知識を生かして、その解決策を提案するもの。さまざまな年代の方々と課題に取り組む中で、チームワークやコミュニケーション力、問題解決力を高めることができ、企画力やプレゼンテーション能力も向上する。説明会では、受け入れ担当者から直接、詳しい内容の説明を受けることができる。4月27日（火）は川崎市観光協会連合会、高津総合型スポーツクラブSELFなど。4月28日（水）はモルテック、多摩川エコミュージアムなど。いずれも第1部（全体説明）が14時50分から、第2部（ブースごとの説明）が15時30分から。詳細はホームページで。

よくわかる〝株式と経済〟講座

「ファンドマネージャー専大グランプリ」導入講座として初開催！

10回目となる「ファンドマネージャー専大グランプリ」の参加者（参加を検討中の学生も含む）を対象に、株式と経済の関係を学ぶ講座。5月11日（火）5時限目（入門編―株式とは何か?）、6時限目（応用編―新聞の株式欄、会社四季報、会社情報の見方）＊いずれか一方のみの参加も可。定員200人。5月7日正午締め切り。

プロフェッショナルが語る現代ビジネス事情2010

神田キャンパス開講！　ご父母、卒業生、一般の参加も可能です！

新日本有限責任監査法人の協力により、ビジネスの現場で活躍する会計士が講師となり、メディアで取り上げられている重要かつ最新のトピックスを分かりやすく解説。経済の変化を知り、社会常識を深めることができる。5月13日から7月15日まで、毎週木曜18時30分から20時に神田キャンパスで開講。受講料は全10回で学生2500円、卒業生・在学生のご父母5000円、一般1000円。

＊以上、詳細はホームページでご確認ください。

問キャリアデザインセンター事務課

多種多様な国際交流を生かそう

中期留学（前期）に17人

▲　大林守国際交流センター長を囲んで

世界15カ国・地域19大学と協定を結ぶ専修大学は、活発な国際交流を展開している。

夏と春の短期留学プログラム、中期・長期留学制度により、語学力の向上、異文化に対する理解力や柔軟性を養う多種多様な海外留学が可能だ。

キャンパス内には、本学に学びに来ている留学生が多数おり、日本に居ながら海外の学生と交流する機会がある。

氏名・留学先は次のとおり＝敬称略。

●オレゴン大学（アメリカ）▽大渕由貴（経済3）▽髙須あかね（経済3）▽杉浦里沙（経済3）▽岸田真侑（経済2）▽太田大地（法3）▽喜浦詞代（文3）▽笹岡翔平（文3）▽澤中志寿子（文3）

●ワイカト大学（ニュージーランド）▽石川将也（経済3）▽渡辺英莉子（経済3）▽森川ちはや（商3）▽大和久麻貴（商3）▽池田温美（文3）▽荒木那穂（文3）▽甲斐奈穂美（文3）▽渋谷実紅（文3）▽真保由衣（文3）

災害救援ボランティア講座

学生部主催

3日間の受講で『認定証』を交付

千代田区の助成を受け、神田キャンパスなどで開催する。自然災害の基礎知識、応急手当などを学び、災害から身を守る方法を学ぶ。

受講者には災害救援ボランティア推進委員会から「セーフティリーダー認定証」、東京消防庁から「上級救命技能認定証」が交付される。

講習は5月15日（土）、29日（土）、30日（日）の全3日間の受講が必要。

申し込みは5月13日までに学生生活課（神田・生田）、二部事務課へ。

定員40人。受講料は無料。

＊詳細は募集要項で確認を。

HJ文庫 ノベルジャパン大賞

谷口俊介さん（経営4）が金賞に

受賞作『バナデレ』は夏にも出版

HJ文庫（ホビージャパン）主催の第4回ノベルジャパン大賞で、谷口俊介さん（経営4）の「新感覚バナナファンタジー『バナデレ』」が、361作品の中から見事金賞に輝いた。8月中旬ごろ出版される予定となっている。

小学校の読書の時間に「ハリーポッター」シリーズと出合い、冒険ファンタジー小説に興味を持ったという。ゲームとお笑いが好きだった高校生のころから「何かを表現したい」という強い思いを抱き、オンライン小説に投稿してきた。「小説を本格的に学んだ経験はありませんが、読者が批評してくれて、少しずつ書き方のポイントが分かってきました」。

受賞作は400字×280枚の大作。選評では「イタズラ心にあふれた優れたギャグ作品。王道的な冒険ファンタジーの世界観を大切にしながらも笑いがあふれる。『バナナ』が効果的に使われている」と高い評価を得た。

組織行動論の蔡芒錫ゼミでは、人の心理や行動について学び、作品の人物像をつくるときに役立っているという。「販売部数が伸びればシリーズ化されるので、1作目が勝負。多くの中高生に読んでもらい、読書習慣のきっかけになってくれればうれしい」と話している。

漫画研究同好会